

編集後記

昨年、本学会の総会の席で、ウェスレー生誕 300 年を記念するこの年、日本においてウェスレーやメソジストのルーツを持つ諸団体が協力してウェスレーの信仰を証しする年としようとの提案がなされた。会員である本間義信氏を中心に、諸氏の尽力により、「ウェスレー生誕 300 年を共に祝う会」が設立された。この呼びかけは、メソジストの諸大学、日本基督教団・更新伝道会、またきよめ派の諸教団の賛同を得ることとなり、各地で、記念行事が開催された。

本号に掲載された鈴木有郷氏による説教は、本年 5 月 24 日、青山学院大学と更新伝道会の共催でもたれた、記念礼拝におけるメッセージである。「キリスト新聞」「クリスチャン新聞」「百万人の福音」というクリスチャンメディアも、ウェスレー生誕 300 年の特集号を企画してくださった。

これらの相互理解、協力関係に、発足間もない本学会が少なからず寄与できたことを神に感謝しなければならない。1998 年に“Reading in Wesley”と称して産声を上げ、翌 99 年に設立総会、2000 年には学会誌の第一号、そして本年第 4 号を数えることができた。

生誕 300 年を記念するため、特集テーマを「教会史におけるウェスレー」と定めた。このテーマを設けた意義を、山内一郎氏が巻頭言で的確に述べておられる。それにまつわる 4 本の論文は、ウェスレー神学の広がりをとうていカバーしきれないが、その多彩な面を知るには十分であろう。それに加えて、中井幸夫氏、斎藤元子氏によるメソジスト研究の論文を 2 本、さらには、10 年に一度、オックスフォード開かれるウェスレーの国際研究機関に参加された岩本助成氏による報告を掲載できたことは、日本の学会と世界におけるウェスレー学会を結ぶ架け橋となった。

本誌作成に、中井幸夫氏が労してくださり、林 牧人氏の協力をいただいたことを心から御礼を申し上げたい。

なお、本学会は団体賛助会員のご協力を得ている。その一覧が、以下に付記されているが、本年新たに、静岡英和学院、活水女学院、横浜英和学院の 3 校が加わってくださったことに、深く感謝する。

(編集委員・藤本 満)